

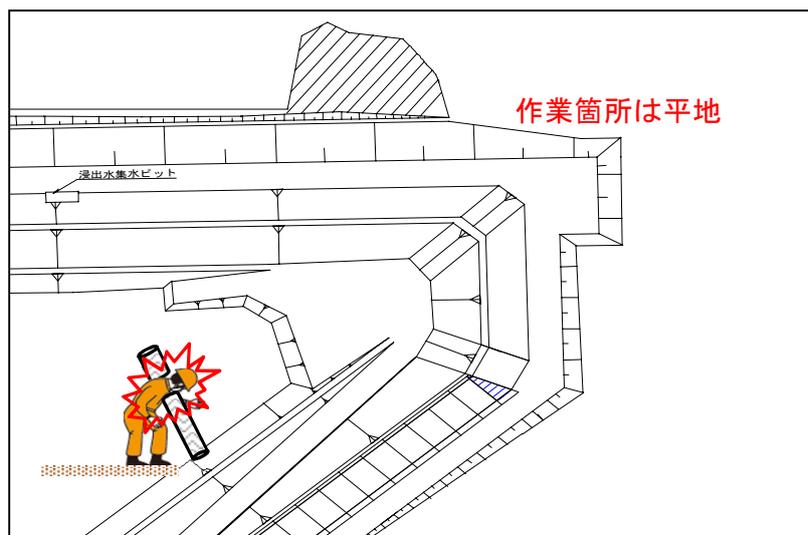
## 『シートを担ごうとしてバランスを崩し、左肩脱臼』

発 生 年 月	平成 年 6 月
時 刻	17:40 頃
被 災 者	遮水工(27歳)
傷 病 名 等	左肩関節亜脱臼、左肩関節唇損傷

## ◎ 発生状況

最終処分場造成工事において底版部の遮水シート敷設作業中、被災者は保護シート1本を(L=2.0m,  $\Phi$ 50cm, W=50kg)移動と配置を行おうと左肩に担いで持ち上げようとしたところ、体勢を崩し荷物を落しそうになり、傍らに居た同僚に当たる恐れが生じたため、左腕に力を入れ踏ん張ったところ、左肩関節を脱臼した。

## ◎ 被災状況



※職長運転の車で病院へ搬送中、被災者は自ら左肩部を右手で擦っていたところ、脱臼部が元の関節位置へ収まり、その状態で診察を受けたため、骨折・脱臼はしていないと診断された。医師から痛みが続くようなら、他の病院の受診を勧められ、翌日別の病院で診察を受け、MRI検査等を行い、異常が無いが今後3週間は左肩を安静にするよう指示される。

## ◎ コメント

- ・重量が55kg以下とは言え、径が50cm重量も50kgあり、担ぎづらいため、小運搬の作業手順の見直しを図ること。
- ・手順見直しの結果として、シートは2mと短いため、前後に二人で持つことは不合理のため、シート中心部の空隙に十分な長さの棒を差し込み、棒の端部を前後で掴み持ち下げて運搬することとした。